

◎ 京田辺市学校給食等の放射性物質検査結果表（平成30年5月実施分）

検査方法 株式会社島津テクノリサーチに委託

（食品中の放射性物質に関する検査を実施することが可能である厚生労働省登録検査機関）

ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメリーによる核種分析法

測定時間：2,000秒

試料 注文弁当調理後試料

☆ 今回の検査結果は、自然界に存在する放射線量の範囲内です。

（参考）

| 検体<br>給食実施日<br>(測定日) | 合計重量<br>(kg) | 測定結果(ベクレル/kg) |                |                | 内部被ばくの実効線量<br>(マイクロシベルト) |
|----------------------|--------------|---------------|----------------|----------------|--------------------------|
|                      |              | 放射性<br>ヨウ素131 | 放射性<br>セシウム134 | 放射性<br>セシウム137 |                          |
| 5/28-6/1<br>(6/1)    | 2.045        | 検出せず<br><0.78 | 検出せず<br><0.77  | 検出せず<br><0.83  | 0~0.052未満                |

※「<」の横の数値は、検出下限値を表しています。検出下限値は測定ごとに異なります。

※測定結果から計算されるセシウム134と137による内部被ばくの実効線量は、「検出せず」の場合、セシウム134と137がそれぞれ検出下限値と等量含まれていたと仮定して、経口摂取による年齢別 実効線量係数(ICRP 国際放射線防護委員会準拠)を使用し算出しています。

※（参考）放射性セシウムの新基準値 (ベクレル/kg)

|     | 一般食品 | 乳幼児食品 | 牛乳 | 飲料水 |
|-----|------|-------|----|-----|
| 基準値 | 100  | 50    | 50 | 10  |

問い合わせ：京田辺市学校環境整備課 0774-64-1393